

気候情報

2014年4月の日本の天候

- 北日本と東日本日本海側は日照時間がかなり多かった
- 北日本日本海側と沖縄・奄美で降水量がかなり少なかった
- 気温は北日本から西日本にかけて平年並、沖縄・奄美は低温

4月の天気概況

月を通して天気は数日の周期で変わったが、全国的に高気圧に覆われて晴れる日が多かった。4日から5日は低気圧が急速に発達しながら三陸沖からオホーツク海に進み、北日本太平洋側では大雪や大雨となった所があった。その後は日本付近に強い寒気が流れ込んだため、中旬にかけて、北日本を中心に気温が平年を下回る日が多かったが、下旬には南から暖かい空気が流れ込み、北日本を中心に顕著な高温となった。また、28日から30日は、南からの湿った空気の影響で、東・西日本太平洋側を中心に大雨となり、局地的には降り始めからの総降水量が300ミリを超えた所があった。月間日照時間は全国的に平年を上回り、北日本と東日本日本海側ではかなり多かった。北日本日本海側では平年の141%、北日本太平洋側では平年の140%、東日本日本海側では平年の130%となり、4月としては統計を開始した1946年以降で最も多くなった。月間降水量は全国的に平年を下回り、北日本日本海側と沖縄・奄美ではかなり少なかった。

上旬：4日から5日にかけて、北日本太平洋側を中心に大雪や大雨となった。その後の寒気により、北日本から西日本にかけて、気温が平年を下回った。沖縄・奄美では、大陸から日本の南海上へ移動する冷涼な高気圧に覆われる日が多く、晴れの日が多かった。旬平均気温は、北・西日本、沖縄・奄美で低く、東日本で平年並だった。旬降水量は、北日本太平洋側でかなり多く、北日本日本海側で多かった。一方、沖縄・奄美ではかなり少なく、西日本は少なかった。東日本は平年並だった。旬間日照時間は全国的に多く、東日本日本海側と西日本ではかなり多かった。

中旬：通過する低気圧の影響による降水は西日本が中心で、その他の地域では高気圧に覆われて晴れる日が多かった。また、千島の東で低気圧が発達したため、北日本では北から寒気が流れ込み、気温が低く推移した。一方、沖縄・奄美では、低気圧や前線が沖縄・奄美の北を東進して、前線の南の暖かい空気に覆われる日が多かった。旬平均気温は、北日本は低く、沖縄・奄美は高かった。東・西日本では平年並だった。旬降水量は、北日本、東日本日本海側と沖縄・奄美でかなり少なく、東日本太平洋側は少なかった。西日本は平年並だった。旬間日照時間は、北日本、東日本日本海側と沖縄・奄美ではかなり多く、東日本太平洋側は多かった。西日本は太平洋側で少なく、日本海側では平年並だった。

下旬：21日から22日は、東・西日本の太平洋側を中

心に雨となった。その後、南から暖かい空気が流れ込んだため、北日本を中心に気温がかなり高くなった。28日から30日にかけては、東・西日本太平洋側を中心に大雨となった。また、沖縄・奄美では曇りや雨となる日が多かった。旬平均気温は、北日本では高く、東・西日本と沖縄・奄美では平年並だった。旬降水量は、北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側と西日本日本海側では少なかった。一方、東日本太平洋側で多く、東日本日本海側、西日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。旬間日照時間は、北日本でかなり多く、東日本は平年並だった。一方、西日本では少なく、沖縄・奄美でかなり少なかった。

4月の気候統計

月平均気温：沖縄・奄美で平年より低かったが、北日本から西日本にかけては平年並だった。

月降水量：北日本日本海側と沖縄・奄美でかなり少なく、北日本太平洋側と東日本日本海側、西日本では少なかった。東日本太平洋側では平年並だった。

月間日照時間：北日本、東日本日本海側でかなり多く、東日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。西日本では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

4月の記録(1位更新のみ)

・月降水量の少ない方から (mm)

室蘭 8.5 江差 9.0 秋田 20.0 など6地点

・月間日照時間多い方から (h)

苫小牧 281.2 浦河 288.0 倶知安 266.0 など35地点

2014年4月の平年差(比)図

